

## 平成28年度第4回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

**1 開催日時** 平成28年11月17日（木）午後2時～4時

**2 開催場所** 市役所4階 S3・4会議室

### **3 出席者**

#### **（委員）**

藤田委員長、松木副委員長、守屋委員、松浦委員、湊野委員、扇谷委員、助川委員、田中委員、上谷委員、大塚委員

#### **（事務局）**

生涯学習部長、生涯学習部参事、生涯学習部次長、郷土博物館長、生涯学習課課長、市民スポーツ課長、高洲公民館長、中央図書館長、市民スポーツ課課長補佐、市民スポーツ課スポーツ振興係長、生涯学習係

**4 傍聴人** 0人

### **5 議題**

#### **（1）報告事項**

1) 行事の開催報告

（開催報告）

①浦安スポーツフェア2016の開催報告について

②平成28年度浦安市公民館文化祭の開催報告について

2) 生涯学習部における各審議会議事録について

①平成28年度第2回公民館運営審議会議事録

②平成28年度第3回公民館運営審議会議事録

③平成28年度第2回浦安市図書館協議会議事録

3) 第58回全国社会教育研究大会千葉大会参加報告について

（参加委員より）

#### **（2）協議事項**

1) 浦安市の生涯スポーツ推進のあり方について

#### **（3）その他**

1) 次回の会議日程について

### **6 議事概要及び会議経過**

#### **（1）報告事項**

1) ①浦安スポーツフェア2016の開催報告については、資料をもって報告とした。

②高洲公民館長より、平成28年度浦安市公民館文化祭の報告をした。高洲公民館文化祭の参加人数及び美浜公民館文化祭の来館者数の訂正をした。

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

- (委員) 市の行事と公民館文化祭の日程調整はできるのか。
  - (事務局) 公民館の文化祭ができるだけ重ならないようにしている。また、限られた土日の開催であることや参加団体の都合等によって調整している。
  - (委員) 子どもの参加人数が多く、異年齢との交流もあり改めて公民館の必要性や大切さを感じている。今後も続けてほしい。
  - (委員) 参加団体が多く、展示スペースの確保等において大変であるということだが、どういった苦労があるのか伺いたい。
  - (事務局) 各公民館によって事情は異なる。新たな参加団体が増えると、展示スペースの確保が生じてくるほか、発表時間の短縮につながるので、実行委員会の中で折り合いをつけている。高洲公民館については、まだ余裕があるので、参加団体への積極的な呼びかけが必要である。
  - (委員) 準備や片づけにおいて、高齢化による負担や事故等、安全面についてどうだったか。また、放送設備の不備について伺いたい。
  - (事務局) 前日準備や終了後の片づけにおいて怪我が懸念されるが、今年の問題なく終了した。できるだけ男性に荷物の運搬をお願いしたり、業者に依頼できれば設営をお願いするなどしている。放送設備についても、通常の放送に加え、職員が文化祭用に音響の設定を行っているため、時折トラブルになることがあるが、今後の検討課題である。
- 2) 生涯学習部における各審議会議事録の①平成28年度第2回公民館運営審議会議事録、②平成28年度第3回公民館運営審議会議事録、③平成28年度第2回浦安市図書館協議会議事録については、資料をもって報告とした。
- 委員からの主な意見・質問等は以下の通り。
- (委員) 図書館自己点検評価について伺いたい。
  - (事務局) 各係単位で1年間の業務目標を定めて、それを内部で点検評価している。今後、図書館の運営がより見える評価項目にし、図書館協議会の委員にも評価に参加していただき、いずれは、市民に公表していきたいと考えている。
  - (委員) 生涯学習部において、図書館以外に点検・評価を行っているところはあるのか。
  - (事務局) 総合体育館、屋内水泳プール、中央武道館、東野プールの体育施設については、浦安市施設利用振興公社の指定管理の中で、自己点検を行い、第三者からの評価も受けている。
- 3) 第58回全国社会教育研究大会千葉大会について、参加委員より報告した。
- (委員) 大会スローガン及び研究主題について紹介し、アトラクション内容、講演会及びシンポジウム等、初日の大会概要について説明した。
  - (委員) 2日目に行われた第3分科会に参加し、テーマ（地域の教育力の向上）の紹介と2つの事例（チャレンジ手帳の実

- 践・公民館は地域おこしの活動拠点) について説明した。
- 「あきらめない」、「挑戦」といった内容が印象的であった。
- (委員) 第2分科会に参加した。みやま市の社会教育委員が子どもたちにとって「基本的生活習慣の定着」が大切であると考え、学校やPTAに協力してもらい作成した「家庭の約束10ヶ条」について説明した。
- (委員) 初日に参加したシンポジウムの中で、こどもが核となった時に地域はまとまりやすいし、活性化すると言っていたことが印象的であった。子どものために地域で何ができるのか、シルバー人材の活用等も考える必要がある。また、プロジェクト学習については、学校でも参考になるものであると感じた。
- (委員) 第1分科会に参加し、学校教育支援の推進事例について受講した。北海道の登別市の学校支援コーディネーターについては、学校に週2回出勤し、専用の机やパソコンがあるということで驚いた。既存の組織や団体がうまく協力し、子どもたちにバーチャルでないリアルな体験をさせていることが印象的であった。学校教育と地域の力である社会教育が補い合いながら子どもたちの成長を育む時代になったと強く感じた。
- (委員) 市立柏高校吹奏楽部の演奏やオリエンタルランド社の人事本部長の講演会、また、事例発表に加え、意見交換の時間を設けた分科会の形態等、千葉県の底力を見せられた大会であった。今回の大会を通じて、「人づくりがまちづくりにつながること」、「音楽を通じた人づくり」、「欲張らずにシンプルにやり続ける」という3点について印象に残った大会であった。

## (2) 協議事項

- 1) 浦安市の生涯スポーツ推進のあり方について
- 委員長より、資料の確認と説明及び本日の協議の流れについて説明した。
- (事務局) 事務局より資料の加除訂正について説明した。  
委員からの主な意見・質問等は以下の通り。
- (委員) 市民全体及び65歳以上の人数の記載に違いがあるので、訂正が必要である。また、学校の施設の開放についていくつか記載されているが、実際にできるのかどうか、また、事故が起きた際の責任の所在等について検討した方が良い。
- (委員長) 提言書には強制力はない。我々の研究であり、担当課への提案であるが、本日、委員の意見を聞いた上で削除や追加について考えていきたい。
- (委員) 怪我や事故については、保険で対応できるのではないか。
- (委員) 保険でカバーできることはあるが、子どもが一度家に帰ったのかそうでないのか、あるいは、違う団体が絡んだ場合については、どちらに責任があるのか等、責任の所在については、難しい問題である。子どもと高齢者を対象にした学校開放に

については、既に行われていることなので、記載しなくてもいいのではないかと。

- (委員) 成人の提言骨子の項目が少ないということなので、皆さんから後ほどご意見を伺いたい。
- (委員) 総合型地域クラブについて伺いたい。
- (事務局) 地域住民が自主的に管理・運営しているスポーツクラブで、浦安市については5つの地区で行われている。
- (委員) 先ほどの学校開放とは繋がりはあるのか。
- (事務局) 広い意味では、あるかもしれないが、基本的には繋がりはない。学校開放については、単体のチームが毎週何曜日の何時から〇〇学校の体育館を使用するといったものである。総合型地域スポーツクラブについては、管理・運営については自分たちで行っている上に、団体同士の横のつながりもあるので、活動内容が変わってくる。
- (委員) 総合型地域スポーツについては、対象は子どもではないのか。
- (委員) スポーツクラブは基本的に子どもから大人までが対象である。
- (委員) 総合型地域スポーツクラブでの、怪我等の責任の所在は、はっきりしているということなのか。
- (委員) スポーツクラブに所属している場合、ほとんど保険に加入していると思う。
- (事務局) 市内のスポーツクラブについては、全て保険に加入している。
- (委員) 浦安体操の普及について、子どものセクションで記載されているが、4つのセクション全体に繋がるものでないか。
- (委員) 浦安体操の普及はいいと思うが、どう普及していくのか、その方法については課題である。
- (委員) 横浜では、万歩計を希望する市民に配布し、登録するとネットで歩数を競い合うことができるイベントを行っている。そういった活動であれば、高齢者だけでなく、他のセクションにも活用できると思う。
- (委員) 成人の総合型地域スポーツクラブについては、行政と相談しながら内容と書き方を詰めていきたい。歩数計については、成人も取り入れたいと考えている。また、他にできることをあと一つ程度考えたい。
- (委員) スポーツ推進委員とはどういうものか伺いたい。
- (事務局) スポーツの推進や普及活動を行っている。公民館等に出向いて軽スポーツの指導を行ったり、市のスポーツイベントに協力をいただいている。市・県・全国と組織もしっかりしている団体である。
- (委員長) 浦安市においては、スポーツや健康についてのイベントを多く行われている。しかし、お年寄りについては、近場で運動できる場所というとUセンターや公民館ぐらいなので、場所の提供や中身の充実が図れればと思う。また、資料の7、8ページを組み直し文章化していく。
- 今後、提言については、副委員長をはじめ市民スポーツ課や関係課と相談しながら、調整していきたい。その上で、委員の皆さんにご意見を伺いながら、より充実した内容にしてい

きたい。

- (事務局) うらやす体操については、浦安市施設利用振興公社がつくった体操であり、市の体操ではないので、その扱いについては慎重に進めていただきたい。
- (事務局) 委員長より予め質問されていた改正された教育委員会制度について、生涯学習課課長より説明した。  
委員からの主な意見・質問等は以下の通り。
- (委員) 来年2月16日に開催する教育委員との懇談会とはどういった感じになるのか。
- (事務局) 浦安市の社会教育や現在協議している生涯スポーツ推進のあり方、あるいは、学校教育について意見交換をするといった内容を考えている。

### (3) その他

- 1) 次回の会議日程について事務局より説明。

平成29年2月16日(木)

午後1時15分より市役所4階S5・6会議室にて教育委員と懇談会

午後2時30分より市役所4階S5・6会議室にて第5回社会教育委員会会議

以上